

令和6年（2024年）度 小中学生海外（ホノルル）派遣事業報告書



（ホノルル市役所ハレにて）



境町教育委員会教育学習課

目 次

《ごあいさつ》

・ 境町長 橋本 正裕	1
・ 境町教育委員会教育長 栗原 恵子（派遣団団長）	2
・ ハワイ州立ノエラニ小学校長 ブライアン・ガスマン	3
・ ハワイ州立アリアマヌ中学校長 アル・ヘトリック	5
・ 境町立境小学校長 山崎 英男	7
・ 境町立境第一中学校長 内海 孝至	7
・ 境町立境第二中学校長 坂上 隆	8

《小中学生海外派遣事業》

・ 事業概要	9
・ 姉妹都市ホノルル市および姉妹校の概要	10
・ 派遣団員名簿	11
・ 派遣日程	12
・ 事前説明会、研修会	13
・ 出発式	17
・ 研修記録	18
(ホストファミリーデー、ホノルル市役所、日本総領事館)	
・ ノエラニ小学校（学校体験、特別授業）	21
・ アリアマヌ中学校（学校体験、特別授業）	25
・ 研修報告（小学生・中学生）	30

ごあいさつ

ハワイ州ホノルル市と境町の児童生徒の交流につきましては、中学校においては令和元年12月に境一中・境二中とアリアマヌ中学校間で、小学校においては、令和4年5月に境小学校とノエラニ小学校間で、それぞれ姉妹校協定を締結し、その後はコロナ禍の影響により、オンラインにより友好関係を深めていたところです。

このコロナの影響が落ち着いた令和5年3月には、アリアマヌ中学校から生徒11名が初めて来町し、その後、令和5年10月にはノエラニ小学校から児童6名、そして今年の3月にはアリアマヌ中学校から15名の生徒に来町いただき、当町の児童・生徒宅にホームステイをしながら、中学校では剣道や茶道、小学校では書道や折り紙などの授業を受け、初めての日本文化に触れながら境町の子どもたちと活発に交流し、親睦を深めました。

境町からは令和5年8月に、中学生15名を初めてアリアマヌ中学校に派遣しました。2回目の派遣となる今年においても、町内全小中学校で実施している「スーパーグローバルスクール(SGS)事業」で身に付けた英語力を実践・体験できる場ということもあり、大変多くの希望者に応募いただいた中から、中学生10名と小学生10名にて、8月25日から30日までの期間で派遣事業を実施いたしました。中学生においては昨年に引き続き2回目、小学生においては初めての海外派遣となりました。

アリアマヌ中学校では、800名の生徒がエントランスに集まり出迎えてくれたほか、ファイヤーダンス等で歓迎していただきました。また、ノエラニ小学校では、全児童による歓迎会を開催していただき、ホストスチューデントによるフラダンス等の歓迎がございました。

児童生徒の学習・生活面では、小・中学校ともに、英語での授業参加や体験学習を行うとともに、ホストファミリーの方々と過ごすことで文化や風習の違いなど貴重な体験をしました。

また、学校生活のほかにも、ホノルル市庁舎ハレにおいて、議会のトミー・ウォーターズ議長を、在ホノルル日本国総領事館で井澤幹夫首席領事を表敬訪問するなど、子どもたちにとって貴重な体験をすることができたのも今回の派遣の特徴だったと思われます。

今回の派遣事業においても、私も一緒にホノルル市を訪れ、小中学生の活動を直接目にまいりました。この派遣事業は、児童生徒たちにとって異文化との交流を通して成長し、新たな価値観や視点を得る貴重な機会となったことでしょう。今後も、このような姉妹都市、姉妹校交流を通して、児童生徒たちが多様な価値観を理解し、国際的な視野を持てるような機会を提供してまいりたいと思います。

結びに、この小中学生派遣事業にあたって、ご理解ご協力を賜りました企業の皆様並びに保護者の皆様をはじめ、アリアマヌ中学校のアル・ヘトリック校長先生、ノエラニ小学校のガスマン校長、ホストファミリーの皆様方には心より感謝申し上げます。

境町長 橋本正裕

多くの皆様のご理解とご支援を受け、令和6年度「境町小中学生ホノルル派遣事業」が無事に終了いたしましたので、ここにご報告と御礼を申し上げます。

令和6年8月25日から30日までの4泊6日の日程で、小学生10名、中学生10名の児童生徒計20名と引率者7名でハワイ州ホノルル市での海外研修を実施いたしました。ホノルル市への児童生徒の派遣は、中学生は昨年につき2回目、小学生としては初めての試みであり、事前の説明会や研修会においてハワイ州ホノルル市に関する歴史や文化を調べたり、ホームステイでの心構えを学んだりなど入念に準備を重ねてきました。児童生徒と保護者様、それぞれで期待と不安が入り混じる中、出発当日を迎えましたが、全員が元気に出発することができ、幸先の良いスタートが切れました。

受け入れていただいたアリアマヌ中学校、ノエラニ小学校においては、それぞれで盛大な歓迎会を開いていただきました。歓迎会では、境町の児童生徒も英語での自己紹介やダンスを披露するなど、練習してきた成果をしっかりと発揮でき、全体を通じて私自身も大変感銘を受けました。

20名の児童生徒は、学校体験やホームステイを通し、ハワイの伝統や文化に直に触れ、生活面や異なる教育環境での学びを得ることができました。授業体験では、ホストファミリーの生徒とともに、サイエンスや音楽、カルチャーなどの授業に参加し、オーリングリッシュでの授業を受けました。

ホストファミリーの家での生活においては、児童生徒たちはハワイの家庭において、日常生活を通して、文化や習慣を学び、受け入れてくださったファミリーの児童生徒とも友情を深めることができました。異なる環境での生活体験が、言葉を越えて心を通わせる大きな力となったと思います。

ホストファミリーデーやアリアマヌ中学校でのアイランドツアーでは、オアフ島の観光名所の見学に連れて行ってくださり、ハワイの美しい自然や歴史に触れ合いました。このような異なる環境での学びは、広い視野を持つ一助となったことと思います。

今後も広がっていく境町の姉妹校交流の中で、今回の小中学生派遣事業により、子どもたちが国際理解をより深め、将来の国際交流の中心的役割を担う人材になっていくことを期待しております。

結びに、今回の派遣事業にご協力いただいたアリアマヌ中学校のアル・ヘトリック校長先生、ノエラニ小学校のガスマン校長をはじめ、各学校における諸先生方、受け入れてくださったファミリーの皆様、保護者の皆様、ご協力いただいた関係者の皆様には心より感謝申し上げます。今後とも、境町とホノルル市並びに境町の中学校とアリアマヌ中学校、境小学校とノエラニ小学校の交流関係がますます発展することを心より祈念いたします。どうぞ今後とも、ご支援賜りますようお願い申し上げます。

境町教育委員会 教育長 栗原 恵子

A Global Bridge: The Sakai-Noelani Sister School Exchange

Honolulu, Hawaii, and Sakai, Japan, have forged a unique bond through the Noelani-Sakai Sister School Exchange. This partnership, initiated in 2018, has fostered cultural understanding, global citizenship, and lifelong friendships between students, teachers, and communities on both sides of the Pacific.

In 2018, Noelani Elementary School's newly hired Principal, Bryan Gusman, explored different ways to fulfil the school's mission to foster global connections among his students. The vision was to create opportunities for students to become lifelong learners who could contribute to a global society. With the support of Senator Brian Taniguchi, the school began exploring opportunities for international partnerships.

Despite the challenges posed by the COVID-19 pandemic, Noelani and Sakai successfully established a virtual connection in 2020. Online meetings with Mayor Hashimoto, Sakai Board of Education, and other town officials opened the door of the relationship. Shortly after, students from both schools were able to get to know each other and build a foundation through virtual meetings.

In 2022, the partnership reached a significant milestone when Noelani and Sakai officially became sister schools. This designation formalized the commitment of both institutions to fostering cultural exchange and collaboration. The exchange has involved reciprocal visits by students, teachers, and administrators. In 2022, Principal Gusman and teacher Jeff Fukushima traveled to Sakai to discuss the exchange program and experience Japanese culture firsthand. In return, Sakai officials visited Noelani to learn about the school's campus and curriculum. The exchange has also included visits from high-level officials. In 2023, Sakai Mayor Hashimoto visited Noelani, further strengthening the relationship between the two communities.

The student exchange programs have been particularly impactful. Students from both schools have had the opportunity to live with host families, attend local schools, and participate in cultural activities. These experiences have helped them develop a deeper understanding of their counterparts' cultures and perspectives.

The Noelani-Sakai Sister School Exchange has had a lasting impact on students, teachers, and families involved. It has created a bridge between two cultures, fostered global citizenship, and provided students with memories that will last a lifetime. As the exchange continues to grow and evolve, it will undoubtedly continue to enrich the lives of all who participate.

Regards, Bryan Gusman
Principal
Noelani Elementary School

グローバルな架け橋：境小とノエラニ姉妹校交流

ハワイ州ホノルル市と日本の境町は、ノエラニ-境小姉妹校交流を通じて、特別な絆を築いてきました。このパートナーシップは2018年に始まり、生徒、教師、そして両国のコミュニティの間で文化理解や国際市民意識、そして生涯にわたる友情を育んできました。

2018年、私たちは、生徒たちにグローバルなつながりを促進するための学校の使命を果たす方法を模索していました。私たちのビジョンは、生徒たちが国際社会に貢献できる生涯学習者となるための機会を提供することでした。ブライアン・タングチ上院議員の支援を受け、学校は国際的なパートナーシップの機会を模索し始めました。

新型コロナウイルスのパンデミックによる困難にもかかわらず、2020年にはノエラニ小学校と境小の間でオンラインによるつながりが確立されました。橋本町長、境町教育委員会、その他の町の職員とのオンライン会議により、関係の扉が開かれました。その後すぐに、両校の生徒たちはバーチャルミーティングを通じてお互いを知り合い、基盤を築くことができました。

2022年には、ノエラニ小学校と境小が正式に姉妹校となり、このパートナーシップは大きな節目を迎えました。この姉妹校の指定により、両校が文化交流と協力を促進することへのコミットメントが正式に表明されました。

この交流は、生徒や教師による相互訪問を含んでいます。2022年には、私と教師のジェフ・フクシマが境町を訪れ、交流プログラムについて話し合い、日本文化を直接体験しました。これに対して、境町の職員たちもノエラニ小学校を訪れ、キャンパスやカリキュラムについて学びました。また、2023年には、境町の橋本町長がノエラニ小学校を訪れ、両コミュニティの関係をさらに強化しました。

特に影響を与えたのは、生徒の相互交流プログラムです。両校の生徒たちは、ホストファミリーのもとで生活し、現地の学校に通い、文化活動に参加する機会を得ました。これらの経験を通じて、彼らはお互いの文化や視点を深く理解することができました。

ノエラニ-境小姉妹校交流は、参加した生徒、教師、家族に持続的な影響を与えています。この交流は、二つの文化の間に架け橋をかけ、国際市民意識を育み、生徒たちにとって一生忘れられない思い出となりました。この交流が今後も継続し、発展するにつれ、参加するすべての人々の生活をさらに豊かにし続けることでしょう。

ブライアン・ガスマン

校長

ノエラニ小学校

Aloha,

I am Al Hetrick, Principal of Aliamanu Middle School.

It has been six years since Aliamanu Middle School formed a sister school relationship with Sakaimachi. Over these years, we have continued to strengthen our ties through various exchanges. In March of this year, 15 students from Aliamanu Middle School had the privilege of visiting Sakaimachi, where they experienced homestays and school life.

In August of this year, we welcomed 10 students from Sakaimachi to Hawaii. These students participated in school activities and enjoyed their time with local host families. We were deeply impressed by their exceptional English skills and adaptability, as they quickly bonded with their new friends and families. This is a testament to the excellent education in Sakaimachi.

Through the support of Mayor Hashimoto and the Sakaimachi community, Aliamanu Middle School has successfully established international programs that benefit both schools. We are truly grateful for this opportunity. We believe it is our duty to provide our children with the tools and experiences they need to succeed in the future, and we are honored to continue this journey with you.

Looking ahead, we are excited to further nurture this wonderful relationship. We hope our collaboration with Sakaimachi will continue to provide valuable learning opportunities for both nations' children.

In closing, I would like to extend my heartfelt thanks to Mayor Hashimoto, the Sakaimachi Board of Education, and everyone involved in this incredible exchange program. Thank you very much.

Warmest Aloha,

Al Hetrick

Principal, Aliamanu Middle School

アロハ。

アリアマヌ中学校の校長、アル・ヘトリックと申します。

アリアマヌ中学校が境町と姉妹校の関係を結んでから、6年が経ちました。この間、さまざまな交流を通じて私たちの絆は一層強まりました。今年の3月には、アリアマヌ中学校から15名の生徒が境町を訪れ、ホームステイや学校生活を体験する貴重な機会をいただきました。

そして、今年の8月には境町から10名の生徒がハワイを訪問し、私たちの学校活動に参加し、地元のホストファミリーと過ごしました。境町の生徒たちの優れた英語力と順応性には深い感銘を受け、新しい友達やホストファミリーとすぐに打ち解け、素晴らしい時間を過ごしていました。これは境町の教育の質の高さを示していると言えるでしょう。

橋本町長様と境町の皆様のご支援のおかげで、アリアマヌ中学校は両校にとって有益な国際プログラムを確立することができました。この機会に心から感謝しております。私たちは、子どもたちが将来成功するために必要な道具や経験を提供することが使命であると信じており、これからも皆様と共にこの旅を続けられることを光栄に思います。

今後も、この素晴らしい関係をさらに深めていきたいと考えています。境町との協力が、両国の子どもたちに貴重な学びの機会を提供し続けることを願っています。

最後に、橋本町長様、境町教育委員会の皆様、そしてこの素晴らしい交流プログラムに関わってくださったすべての方々に、心からの感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

心からのアロハを込めて、

アル・ヘトリック

アリアマヌ中学校 校長

境町立境小学校 校長 山崎 英男

今回、境町小中学生海外（ホノルル）派遣事業に引率できたことは、私にとって貴重な経験となりました。特に、小学生が親元を離れ、初めて海外の地で異文化に触れ、成長していく姿を間近で見られたことは、教育者として大きな喜びです。

ハワイのホストファミリーとの生活や、ノエラニ小学校での授業参加など、子どもたちにとって一つ一つが貴重な体験となり、英語力だけでなく、異文化理解や国際感覚を大きく育みました。

例えば、子どもたちがホストファミリーと4日間寝食を共にし、一緒に現地で買い物や観光をしたり、学校の授業や友達との会話の中で、試行錯誤しながら現地の言葉でコミュニケーションをとったり…、それら多くの経験は、子どもたちの心に深く刻まれ、将来の成長に大きく貢献すると確信しています。

今回の事業が成功裏に終えられたのは、橋本正裕町長をはじめ、町議会、教育委員会の皆様のご尽力のおかげです。心から感謝申し上げます。子どもたちが、今回の経験を活かし、今後の学校生活での活躍はもちろん、将来の境町を支える人財となり、未来へと羽ばたいていくことを願っています。

異文化交流の意義 ～アリアマヌ中学校を訪問して～

境町立境第一中学校長 内海 孝至

昨年度に引き続き、境町小中学生海外派遣事業派遣団の一員として、ハワイ州立アリアマヌ中学校の訪問に随行させていただいたことを心から感謝いたします。アリアマヌ中との交流も2年目を迎え、この3月に再びアリアマヌ中学校のみなさんを学校にお迎えしました。生徒間、職員間の交流も親密さを増し、双方にとって大変有意義な時間となりました。

そして、今回ハワイを訪問する機会を与えられた生徒たちにとって、ホームステイを含めた現地での全ての体験が生涯忘れることのできない思い出となったことを確信しています。ホストファミリーに引き渡す前は、不安と緊張を感じていた生徒たちでしたが、ホストファミリーやアリアマヌ中生徒たちの親切な対応のおかげもあり、家庭や学校で充実した時間を過ごすことができました。日本の学校とは違う雰囲気での授業、学校や家庭での生活を経験し、生徒たちは視野を大きく広げたことでしょう。私たち教職員も授業やプレゼンテーションを通して、現地生徒や先生方と交流を深めました。この交流を通して、双方の違いや共通点を認識するとともに、それぞれのよさや課題を見つけることができました。

今後もこの交流事業をより有意義にしていくためには、コミュニケーションの土台となる子どもたちの英語力をさらに伸ばしていく必要があります。通常の授業の充実とと

もに SGS の利点を最大限に活用し、小学校との連携を深めながら取り組んでいく所存です。

最後になりますが、あらためましてこのような事業を企画・運営していただいた橋本正裕町長を始め、町当局の皆さまに感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

境町小中学生海外派遣事業 ～Aliamanu Middle School を訪問して～

境町立境第二中学校長 坂上 隆

この度は境町小中学生海外派遣事業派遣団の一員として、Aliamanu Middle School を中心とした訪問に随行させていただいたことを心から感謝いたします。

グローバル化が進む中、国際共通語とも言える「英語」でのコミュニケーション能力を高めることは、海外へ旅行したり、仕事で出かけたりすることが、今よりもっと一般的になっていく、子供たちの可能性を大きく広げることは言うまでもありません。特にハワイは、様々な民族の文化、欧米系などの西洋の文化が混在している世界の縮図のような場所であり、今回この地を訪問する機会を与えられた子供たちにとっては、これまで身に付けた教養やコミュニケーション能力を活かし、世界を舞台にして活躍が期待され、大変貴重なものになると確信しております。日本の学校とは違う雰囲気 of 授業、学校や家庭での生活を経験し、それぞれ視野を大きく広げたことだと思います。私たち教職員も Aliamanu Middle School の生徒たちや先生方と交流を深め、双方の違いや共通点を認識するとともに、それぞれのよさや課題を見付けることができました。

今回の派遣事業を終えて、参加した子供たちは、これからの自分の将来に夢をふくませ、もっともっと英語を学びたいといった前向きな気持ちをもってくれたようです。多くの町民の皆さんが期待する中で、実施したこの派遣事業は、そういった気持ちをもったことだけで満足するものではありません。参加した小中学生が学校生活で一生懸命、英語を学び、海外で活躍することを夢見て努力し続けること、そして将来、その夢を実現すること、その姿を見て、さらに後に続く世代がその人に憧れ、目標にして頑張っていくようになったら、とても素敵なことだと思います。

今後もこの事業をより有意義にしていくために、通常の授業の充実とともに本町の利点を最大限に活かし、町内各校と連携を深めながら取り組んでまいります。

最後になりますが、あらためましてこのような事業を企画・運営していただいた橋本正裕町長を始め、関係職員の皆さまに感謝と御礼を申し上げます。

■事業概要

1. 目的

境町から姉妹都市ホノルル市に小中学生を派遣し、姉妹校ノエラニ小学校及びアリアマヌ中学校の児童生徒やホストファミリーとの交流を通して、境町の子どもたちのさらなる英語力向上や国際感覚を養うことを目的とする。

2. 派遣人員

小学生 10 名（境町立境小学校 5 年生又は 6 年生）
中学生 10 名（境町立中学校 2 年生又は 3 年生）
引率者 11 名（境町立小中学校教職員 7 名・町職員 4 名）
合 計 31 名

3. 派遣都市

ハワイ州ホノルル市

4. 派遣期間

令和 6 年 8 月 25 日（日）から 8 月 30 日（金）まで（4 泊 6 日）

5. 主な活動内容

- ・ノエラニ小学校及びアリアマヌ中学校での学校体験
- ・ホストファミリーとの交流（宿泊を伴う生活体験）
- ・ホノルル市役所表敬訪問
- ・在ホノルル日本国総領事館表敬訪問

【境町とホノルル市の交流】

境町は、魅力ある町づくりの一環として英語教育に重点を置き、小学校 1 年生から日常的に英語に触れながら、小中学校 9 年間を通して、実用的な英語力の習得やグローバル社会で活躍できる人材の育成を目指しております。これを実現するため、境町は、ホノルル市と以下のとおり交流を深めています。

平成 30 年 9 月	友好都市協定を締結
令和元年 12 月	境町の中学校とホノルル市アリアマヌ中学校が姉妹校提携協定を締結
令和 3 年 11 月	姉妹都市協定を締結
令和 4 年 5 月	境小学校とホノルル市ノエラニ小学校が姉妹校提携協定を締結
令和 5 年 3 月	アリアマヌ中学校の生徒 11 名が境町へ短期留学（ホームステイ）
令和 5 年 8 月	境町中学生 15 名がアリアマヌ中学校へ短期留学（ホームステイ）
令和 5 年 10 月	ノエラニ小学校の児童 6 名が境町へ短期留学（ホームステイ）
令和 6 年 3 月	アリアマヌ中学校の生徒 15 名が境町へ短期留学（ホームステイ）

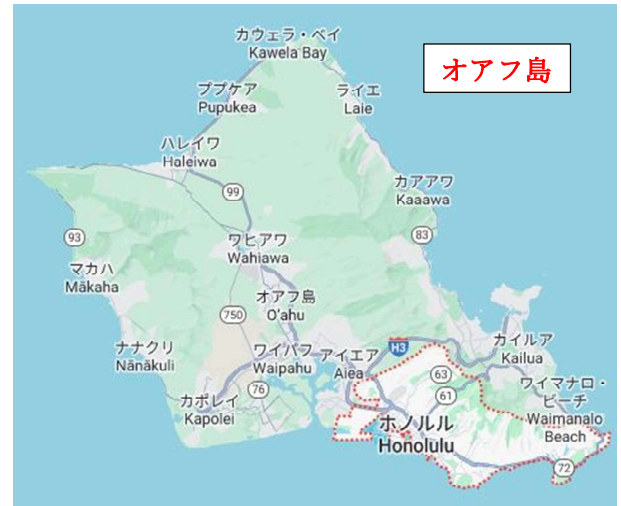
姉妹都市ハワイ州ホノルル市および姉妹校の概要

【場所・人口等】

ホノルル市は、オアフ島の南岸に位置する米国ハワイ州の州都であり、政治・経済・文化の中心地となっています。

国勢調査が実施された 2020 年時点でのホノルル市の人口は、約 34 万人であり、ハワイ州最大の都市となっています。

ホノルルの平均気温は、年間を通して 25℃ 前後と過ごしやすく（東京の年平均気温は約 15℃）、年間を通じた気温の変動が小さいのも特徴です。また、夏場でも日本とは違い、湿度が低く乾燥しているため、過ごしやすい日が続きます。



【ノエラニ小学校】

ノエラニ小学校は、ホノルル市のマノアにある公立の小学校です。幼稚園（5歳）から小学5年生（11歳）まで約 400 人の児童が在籍しています。

教育に熱心で裕福な家庭が多く、オバマ元大統領もノエラニ小学校の幼稚部に通っていました。アメリカで定期的に行われる定期試験では、州でトップの成績を収めています。また、日系人が多く、PTA の団結が強いのが特徴で、国際交流に関しても協力的です。

【アリアマヌ中学校】

アリアマヌ中学校は、ホノルル市のセントラルオアフ地区にある公立の中学校です。校名はハワイ語で「鳥の休憩所」を意味しています。修学期間は 2 年間（7・8 年生＝日本の中学 1・2 年生）で、約 800 人の生徒が在籍しています。軍関係の住宅や施設に囲まれており、全校生徒の 8 割近くが軍人家庭で占められています。女子生徒はハワイの伝統的な歌や踊り、フラダンスが必修科目となっています。

■派遣団員名簿

●団員（小学生）

	区分	学校	学年	氏名	かな	性別
1	小学生	境小	6年	上原 陽向	うえはら ひなた	男
2				関 奏志	せき そうし	男
3				半村 奏磨	はんむら そうま	男
4				藤枝 理乃	ふじえだ りの	女
5				間瀬 陽奈梨	ませ ひなり	女
6			5年	風見 大樹	かざみ ひろき	男
7				櫻井 琴心	さくらい ことみ	女
8				佐々木 元一	ささき もとかず	男
9				高橋 睦	たかはし むつみ	女
10				新谷 結	にいや むすび	女

●団員（中学生）

	区分	学校	学年	氏名	かな	性別
1	中学生	境一中	3年	大賀 智貴	おおが ともき	男
2				金久保 芽可	かなくぼ めいか	女
3				シェク アラビ	しえく あらび	女
4			2年	宇津木 彩乃	うつぎ あやの	女
5				金久保 伶奈	かなくぼ れな	女
6				菊地 芽依	きくち めい	女
7				穴戸 晴紀	ししど はるき	男
8				辻 彩愛	つじ あやね	女
9		境二中	3年	倉持 暉	くらもち ひかり	男
10			2年	稲垣 空羽	いながき くう	女

●引率者

	所属	役職	氏名	かな	性別
1	境小学校	校長	山崎 英男	やまざき ひでお	男
2	境小学校	教諭(外国語)	中村 高子	なかむら たかこ	女
3	境小学校	教諭(外国語)	青木 瞳	あおき ひとみ	女
4	境第一中学校	校長	内海 孝至	うちうみ たかし	男
5	境第一中学校	教諭(英語科)	津留 みのり	つる みのり	女
6	境第二中学校	校長	坂上 隆	さかがみ たかし	男
7	境第二中学校	教諭(英語科)	逆井 由紀子	さかさい ゆきこ	女
8	境町教育委員会	教育長	栗原 恵子	くりはら けいこ	女
9	境町教育委員会	学校教育課 課長補佐	織原 智史	おりはら さとし	男
10	境町教育委員会	学校教育課 指導主事	藤原 葉子	ふじはら ようこ	女
11	境町教育委員会	学校教育課 係長	影山 敬紀	かげやま ひろき	男

■派遣日程

小中学生ホノルル派遣 日程表

8月25日から8月30日（4泊6日）

	小学生			中学生		
	8月25日～8月29日（4泊6日）					
	場所	現地時間	行程			宿泊場所
8/25 (日)	成田	15:00	境町 文化村公民館 集合	15:00	境町 文化村公民館 集合	
		15:30	境町 文化村公民館 出発	15:30	境町 文化村公民館 出発	
17:00		成田空港到着	17:00	成田空港到着		
18:10		搭乗手続き	18:10	搭乗手続き		
20:10		NH184便にてホノルル国際空港へ 機内	20:10	NH184便にてホノルル国際空港へ 機内		
	ホノルル	8:45	ホノルル国際空港 到着	8:45	ホノルル国際空港 到着	ホストファミリー宅
		10:30～10:45	ノエラニ小学校 到着 (ホストファミリーへ引き渡し) ホストファミリーデー	10:15～10:30	アリアマヌ中学校 到着 (ホストファミリーへ引き渡し) ホストファミリーデー	
8/26 (月)	ホノルル	7:30～7:45	ホストファミリー送迎(IDEAセンター集合)	8:00	ホストファミリー送迎(S2集合)	ホストファミリー宅
		8:15	学校案内（ノエラニ小）	8:00～8:30	学校案内（アリアマヌ中）	
		9:15	学校出発	9:15	学校出発	
		10:00	ホノルル市役所 表敬訪問	10:00	ホノルル市役所 表敬訪問	
		11:00～11:30	日本領事館表敬訪問	11:00～11:30	日本領事館表敬訪問	
		11:45-12:45	昼食会(PTA主催)	12:15～12:45	学校へ戻り昼食(S2)	
		13:00-14:00	歓迎会(カフェテリア)		学校体験	
		14:15～	ホストファミリー迎え(または学童へ)	14:30	ホストファミリー迎え	
8/27 (火)	ホノルル	7:45	ホストファミリー送迎	8:00～8:10	ホストファミリー送迎(S2集合)	ホストファミリー宅
		8:00～	学校体験（ノエラニ小）	8:15～	学校体験（アリアマヌ中）	
		11:45～12:15	昼食(カフェテリア)	11:00-13:00	昼食 (歓迎会)	
		14:15～	ホストファミリー迎え(または学童へ)	15:30	ホストファミリー迎え	
8/28 (水)	ホノルル	7:55	ホストファミリー送迎	8:00～8:10	ホストファミリー送迎(S2集合)	ホストファミリー宅
		8:00	学校体験（ノエラニ小）	8:15～	学校体験（アリアマヌ中）	
		11:45～12:15	昼食(カフェテリア)	11:20～12:00	昼食	
		14:15～	ホストファミリー迎え(または学童へ)	17:00	ホストファミリー迎え	
8/29 (木)	ホノルル	8:30	ホノルル国際空港 到着	8:30	ホノルル国際空港 到着	※HF送迎
		9:35	搭乗手続き	9:35	搭乗手続き	
		11:35	NH183便にて成田国際空港へ	11:35	NH183便にて成田国際空港へ	
8/30 (金)	成田	14:50	成田空港 到着 (第1ターミナル)	14:50	成田空港 到着 (第1ターミナル)	
		16:00	成田空港 出発	16:00	成田空港 出発	
	境町	17:30	境町役場 到着	17:30	境町役場 到着	

■事前説明会等

【事前説明会】

日時：令和6年7月4日 19時00分から20時00分

内容：教育長あいさつ

派遣団員自己紹介

ノエラニ小学校及びアリアマヌ中学校との姉妹校交流事業について

派遣事業の目的について

ハワイの歴史・地理等について

渡航に際して準備するものについて

事務連絡（次回研修会の日程等）



教育長あいさつ



説明会に出席した派遣団員と保護者



ハワイの歴史や地理等について学習

【第1回研修会】

日時：令和6年7月23日 18時00分から20時00分

内容：英語（自己紹介・あいさつ）の練習

派遣団員としての心構えについて

ホームステイの心構えについて

事務連絡（宿題・次回研修会の日程等）



派遣団員同士で英語での自己紹介を練習



グループごとにホームステイの心構えについて学習

【第2回研修会】

日時：令和6年8月5日 13時00分から17時00分

内容：グループごとにハワイの歴史・地理・文化について発表

英語（自己紹介・あいさつ）の練習

よっちょれソーラン節の練習（小学生）

茨城国体いきいきゆめダンスの練習（中学生）

お土産作り（手作りの缶バッジ）

事務連絡（次回研修会の日程等）



グループごとにハワイの歴史・地理・文化について発表



ソーラン節の練習をする小学生



いきいきゆめダンスの練習をする中学生



お土産の缶バッジのデザインを考える小学生

【第3回（最終）研修会】

日時：令和6年8月20日 19時00分から20時00分

内容：旅のしおり配付・読み合わせ

派遣日程等の最終確認

ホノルル市役所・在ホノルル日本国総領事館表敬訪問でのあいさつ練習

よっちょれソーラン節・茨城国体いきいきゆめダンス練習

事務連絡（出発当日の集合時間等）



表敬訪問でのあいさつを練習する風見さん



表敬訪問でのあいさつを練習する菊地さん



ソーラン節の練習をする小学生



いきいきゆめダンスの練習をする中学生

【出発式】

日時：令和6年8月25日 15時00分から15時15分

内容：教育長あいさつ

小学生代表者（半村奏磨さん）による抱負発表

中学生代表者（倉持暉さん）による抱負発表

記念撮影



抱負を発表する半村さん(写真中央)



抱負を発表する倉持さん(写真中央)



境町を出発前に記念撮影(写真中央)

研修記録

【8月25日】



ダニエル・K・イノウエ国際空港に到着しました！これからそれぞれの学校へ向かいます。



ホストファミリーの児童・生徒のみんなと全員で記念撮影！やっと会えました！



ホストファミリーとこれからファミリーデーを過ごします。どこに行くのか楽しみです。

【ホストファミリーデー】



ホストファミリーとの忘れられない思い出ができました。

【8月26日 ホノルル市役所ハレ・日本国総領事館表敬訪問】



ホノルル市議会のトミー・ウォーターズ議長が出迎えてくださいました。



ホノルル市の議員さん、市の代表の方の前で堂々とスピーチをしました。



全員でシャカのポーズで記念撮影。



派遣団として、ホノルル市で学びたいことや挑戦したいことをプレゼンしました。



総領事館前で記念撮影をしました。



伊澤首席領事からハワイに関するプレゼンをしていただきました。

ノエラニ小学校での授業体験	
8月26日（月）	
8:00	登校・学校案内
9:00	ホノルル市ハレ・日本国総領事館訪問
13:00	歓迎会・ランチ
8月27日（火）	
8:00	登校・学校案内
9:00	授業体験：算数
10:00	ハワイの伝統についての授業
11:00	ランチ
12:00	授業体験：図画工作
14:00	フラワーズブレスレッド作り
8月28日（水）	
8:00	登校
9:00	新聞カブト作り（ホスト児童と一緒に）
10:00	カパ・スタンプでフォトフレームづくり
12:00	ランチ
13:00	授業体験・お別れ会

※児童によって体験した授業は異なります。

【ノエラニ小学校での思い出～サンセットメモリーズ～】



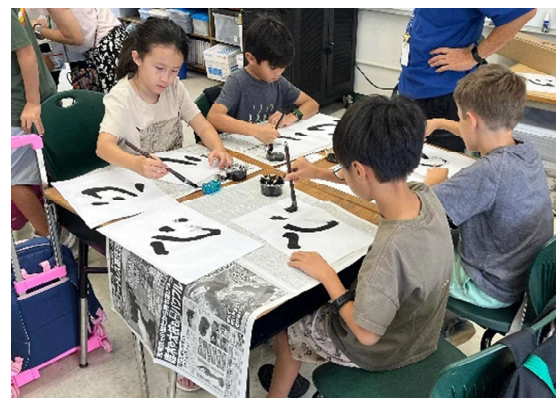
境小名物《よっちょれソーラン》を披露しました。



議員さん達から1人1人に認定証をいただきました。



ノエラニ小のマスコットキャラクターのゲッコーを発見しました！



一緒に書道の授業体験



体育の授業でストレッチ



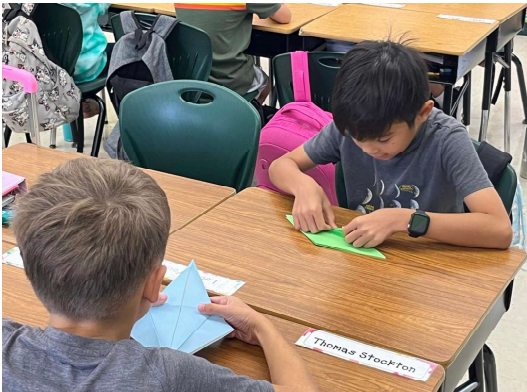
みんなで食べるランチは美味しいね。



新聞兜作り上手にできました！



思い出の写真を入れるフォトフレーム
づくりを体験しました。



折り紙作り体験の授業



10月に境町でホームステイした児童と
久しぶりの再会です！



ファミリー宅での憩いのひととき



山崎校長先生が境小について英語で
プレゼンを披露しました。

境町英語教諭の特別授業@ノエラニ小学校

境小学校 中村教諭 日本文化体験

日本の祝日「こどもの日」について知り、文化に親しもう！

<感想>

日本の新聞に初めて触れる児童が多く、ひらがな探しゲームや新聞兜作り等、興味をもって取り組む様子が見られました。鯉のぼりや兜作りを一緒に行うことで、日本文化を伝える貴重な経験ができたと思います。

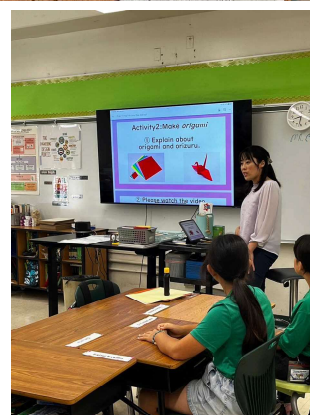


境小学校 青木教諭 習字&折り紙体験

日本文化に触れながら、習字と折り紙を体験しよう。

<感想>

児童たちは折り紙や書道の活動にとっても真剣な眼差しで話を聞き取り組んでくれました。書道では、一筆書きをすることが難しかったようで、太く色を塗るように字を書いていた。私自身にとっても大変貴重な経験でした。



アリアマヌ中学校での授業体験	
8月26日（月）	
8:00	登校・学校案内
9:00	ホノルル市ハレ・日本国総領事館訪問
12:30	昼食
13:30	授業体験 教科：オーケストラ
8月27日（火）	
8:00	登校・学校案内
9:00	ハワイアン・アクティビティー体験
10:00	授業体験 教科：科学
12:00	アリアマヌ中歓迎会・ランチ
14:00	フラレッスン
8月28日（水）	
8:00	登校
9:00	授業体験 教科：数学
10:00	授業体験 教科：家庭科
11:00	ハワイアンミュージック体験
12:00	ランチ
12:15-17:30	アイランドツアー（オアフ島視察）
	訪問場所
	①マツモトシェイブドアイス
	③クアロアリージョナルパーク（公園）
	④ヌウアヌ・パリ展望台
※生徒によって体験した授業は異なります。	

【アリアマヌ中学校での思い出】



茨城国体で披露された《いきいきゆめダンス 2019》を歓迎会で披露しました。



歓迎会での自己紹介と挨拶をしました。



ハワイの伝統フラ



迫力満点のファイヤーダンス



揚げ餅と境町オリジナルの缶バッチをプレゼントしました。



みんなで記念撮影



スパムづくり体験



作ったスパムむすびをみんなで食べました。



公民の授業体験



「マンカラ」というボードゲームを楽しみました。



ウクレレ体験。初めてでも上手に弾けました。



ハワイの伝統的な楽器で演奏会

【アイランドツアー】



大人気のマツモトシェイブアイスを堪能



ノースショアで思い出ができました。



クアアリージョナルパークのビーチで
大はしゃぎ！



ヌウアヌ・パリ展望台



また会おうね！



Mahalo!

境町英語教諭の特別授業@アリアマヌ中学校

境第一中学校 津留教諭 切り絵体験

切り絵に挑戦しよう。

<感想>

生徒たちはカッターでの細かい作業に苦戦しながらも一生懸命に取り組んでくれました。お互いに励まし合ったり、ポジティブな言葉を投げかけたりと前向きな発言ばかりで大変感動しました。



境第二中学校 逆井教諭 日本文化体験

日本文化に触れながら、オリジナルの記念品を作ろう。

<感想>

生徒たちは、プラ板づくりに意欲的に取り組んでいました。日本文化について知り、実際に思い出に残るようなものづくりができたので、お互いに大変貴重な経験ができたと思います。



令和6年度小中学生海外派遣事業報告書

『海外派遣事業に参加して』

境小学校 6年 上原 陽向

僕は、初めて会う家族の一員として4泊6日過ごすということにとってもドキドキしていました。ですが、ホストファミリーの皆さんは明るく、温かく迎えてくれました。ホストファミリーは、



ホストファザー、マザー、ディランくん、双子の弟のダスティンくん、ダクスターくんの5人です。両親とも仕事忙しい中、ホストファザーが仕事を休んでくれて、日々の食事の用意や学校への送迎、身の回りのことをとても親切に手伝ってくれました。ディランくん、ダスティンくん、ダクスターくんには優しくしてもらったり、わからないことを教えてもらいました。言葉でわからないときはジェスチャーや表情で伝え合うこともできました。日々過ごしていく中でハワイの人の心の温かさや優しさに触れることができました。

ホストファミリーデーでは、ダスティンくんとダクスターくんのバスケの試合を観戦したり、ゲームセンターに行ったりなどと、日本とは違ったハワイでの経験やホストファミリーと触れ合う時間が多く、とても充実した時間でした。ホストマザーとも一緒に行くことができ嬉しかったです。

2日目、3日目、4日目の3日間は、境小学校の姉妹校であるノエラニ小学校との交流を行いました。歓迎会では、今までみんなで練習してきたよっちょれダンスや、英語での自己紹介文などを話したりなどということをして全力でやりきることができました。

また、ホノルル市役所の表敬訪問では、英語で自分たちが何をしに来たのかを説明したりなどということを経験しました。大きな舞台上で発表できたことは僕にとって、とても大きな自信となりました。

学校では、算数の授業で分数の計算の学習をしたり、ハワイアンカルチャーについても学びました。ハワイアンカルチャーの1つ目は、タロイモを潰して、ポイにするという体験をしました。すごく楽しくハワイの食べ物の文化を学ぶことができました。

2つ目は、レイという日本で言う花飾りを実際につくるという体験です。ハワイの作り物の文化なども学ぶことができました。ノエラニ小学校の生徒たちとも交流することができ、とても楽しい時間でした。ノエラニ小学校の生徒は、フレンドリーで明るい子が多くとても接しやすいと感じました。

ホストファミリーやノエラニ小学校の皆さんとコミュニケーションをはかるときは、今まで境小で学んだこと、家で自主的に行ってきた英語勉強を生かしてコミュニケーションをとることができました。

クラスの授業では、算数の分数の計算について英語で勉強しました。授業内でのコミュニケーションでは、とても難しいこともありましたが、この経験を通して更に英語力の向上につながったと思います。言葉や文化の違いを超えて、何もかもがとても楽しい時間でした。

このような体験ができたのも、橋本町長をはじめ、教育委員会の皆様、境町に関わってくれた方々のおかげです。たくさんのご指導、ご支援をありがとうございました。今回、体験したことはすべて僕の宝物です。この貴重な経験を活かし、今後、もっと英語力を高められるよう努力し、少しでも境町の役に立てるよう日々、頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



この事業を通して私は、学べたことと成長できたことがあります。

ハワイで4泊6日ホームステイする中で、ハワイと日本とでの様々な違いを体感しました。まず、今回私が行った家庭では、日本と同じく靴を脱ぎましたが、一緒に参加した友達も、靴を履いたまま家に入るといふ家庭が多く見られました。靴を履いたまま家に上がってもリラックスできない気がして、文化の違いを感じました。また、ハワイでは「タロイモ」を昔から食べていますが、日本では馴染みがなく、私は食べたことがありませんでした。ハワイの授業では、伝統的なパウンディングを体験させていただきました。パウンディングとは、木の板と石でタロイモをすり潰す方法です。タロイモは、ネバネバしていて、お餅のような見た目でした。食べると、ほんのり干し芋のような甘みがありました。次に、気候の違いです。ハワイと日本で比べると日本の方が蒸し暑く、ハワイのほうがカラッとしていて涼しいです。風は海が近かったからか、とても強かったです。



初めてホストファミリーの家に行ったとき、「晩ご飯は何がいい？」と、英語で聞かれました。今までの私は、自信がなくて答えられなかったのに、とっさに答えが頭の中に浮かび、英語で答えることができました。その後も、ホストファミリーが話すことを理解し、なんとか答えようとしているうちに、会話をするのが増えて、英語への不安がいつの間にかなくなっていました。そして、ディナーのときに、カーソン君の叔母さんや、いとこなど親戚みんなが私を歓迎するために集まってくれました。ホストファミリーは日系人で、お父さんが少しだけ日本語を喋ってくれましたが、翻訳機能に頼らず、日本語がなくても楽しくボードゲームの「バウンサー」やジェンガと一緒に遊べました。私が持っていた昔ながらの紙風船やコマ、吹き戻しという日本の伝統のおもちゃで遊ぶこともできました。学校では、ノエラニ小学校のクラスメイトの中に、日本人が私1人だけの時もありました。不安や緊張もあったけれど、乗り越えることができたのは、ホストファミリーと英語でも楽しい時間を過ごせていたからだと思います。アラモアナショッピングセンターへ買い物に行った時、お母さんが帽子を買ってくれました。本当の家族のように、よくしてもらったことがとても嬉しかったです。学校の送迎などもしてくださった祖父母のお2人や他の親戚の方にも感謝しています。毎日がとても楽しく充実した6日間でした。また、昨年私の家にホームステイに来たルーカス君とその家族にも会うことができました。あの時よりも、自信をもって英語で話せたと思います。ルーカス君の大切な家族と話ができたことも嬉しかったです。仲良くなりたくて一生懸命うちに、英語を話す力と聞き取る力が向上したように思います。ハワイに家族のような存在の大切な友人ができ、自分の家族と離れて過ごした日々は、とても大きな自信になりました。

帰国してから、今までと世界が違ったように見えました。私の夢は、動物に関わる仕事に就くことですが、海外の動物の保護活動について勉強してみたいと思うようになりました。また、もっと英語を話せるようになって、色々な国の人たちと話してみたいと思いました。この度は令和6年度小中学生海外派遣事業に参加させていただき誠にありがとうございました。今回の派遣事業に選出してくださったこと、サポートしてくださった町役場の皆さんや、町長さんに感謝しています。

はじめに、僕が体験したハワイでの生活について報告します。

僕がホームステイをした家族はお父さん、お母さん、小学5年生の男の子、小学2年生の女の子の4人家族です。主に小学5年生のエンゾーと学校生活を体験しました。朝は7時に起きて朝食を食べました。朝食はワッフルやエッグサンドと僕が事前にリクエストしていたフルーツを毎朝出してくれました。小学校の近くに住んでいて、8時にお父さん、お母さんと歩いて登校しました。授業が終わった後は、学校の食堂が学童として使われ、そこで迎えが来るまで校庭で遊んだり、勉強をしたりして過ごします。帰宅後は夕飯まで宿題やゲームをしました。食事はワンプレートで出てくることが多く、主食はお米でした。おかずは肉が多く、肉が苦手な僕は苦戦しました。お母さんが気を遣って、僕のためにチキンナゲットを出してくれたこともありました。お風呂はユニットバスで、入り方がわからず、シャワーで何度か床を水浸しにしまいました。夜8時が寝る時間でエンゾーの部屋の2段ベッドで休みました。

次に学校での授業や生活について報告したいと思います。

ノエラ二小学校では家族に車で送迎してもらい登校する子が多くいました。授業はグループワークのスタイルが多く、友達と意見交換していました。昼休みには持ってきたお菓子を食べることもでき、給食はクラスごとではなく食堂に行って全校児童で食べます。休み時間には体育館でバスケットボールをしている子がたくさんいました。ノエラ二小学校の子は僕たち日本人の小学生にとってもフレンドリーに話しかけてくれ、遊びの仲間にも入れてくれました。



最後にこの派遣事業を通して僕が学び、感じたことを報告します。

ハワイでの生活を通して、家庭での食事や生活スタイルの違いを知ることができました。授業は日本のように静かに受けるのではなく、話し声が多く聞かれ日本の授業とは違った雰囲気でした。ホストファミリーとの関わり方では、僕が会話の内容が分からないときには、翻訳アプリを使ったり、簡単な単語を使ったりしてたくさん話しかけてくれました。僕もなるべく自分の言葉で返すことを心がけました。滞在中はホストファミリーのお父さん、お母さんが優しく接してくれたので安心して過ごすことができました。

去年、僕たち家族はホストファミリーとしてノエラ二小学校の男の子を受け入れました。その時はハワイがどういうところなのか、どんな生活をしているのかよく分かりませんでしたが、今回、僕がハワイでの生活を経験したことで、ハワイから日本に来た子に日本についてもっと知ってほしいこと、連れて行きたい場所について考えるようになりました。海外から日本をみることで日本の良いところにも気づいたり、考えるきっかけにもなりました。小学校最後の夏休みにとっても貴重な経験ができて良かったです。

今後も、このような交流が続けば良いと思いました。

私は、この事業を通して学んだことが2つあります。

1つ目は、海外の方との会話についてです。初日、ホストファミリーと初めて話したとき、私の想像以上に相手の話すスピードが速く、よく聞き取れなくてどう反応したらいいのかわからなくなってしまう、ときには、質問の内容も聞き取れなくて困ってしまうこともありました。しかし、日々を重ねるごとに段々と意味がわかってくるようになり、お互いに仲を深めることができました。また、何かをしてもらった際にお礼をするときや、何か言われた際に返事をするとき、簡単な英語でも伝わるのがわかりました。特に「Thank you」、「OK」という英語は色々な場面で使えるので、毎日使いました。「Good night」、「Good morning」などの挨拶も欠かしませんでした。なので、1日を楽しく過ごすことができました。



2つ目は、ノエラニ小学校についてです。境小学校と比べてみると異なっている点がいくつもありました。まず、ノエラニ小には上履きがなく、土足で学校内を歩いていました。教室に入ると、机の並びが違っていることに気づき、グループで分けているような配置でした。給食は、日本のものより量が多いイメージがあり、建物の中で食べましたが、その最中に鳥が何回も建物の中に入ってくることがありました。授業面では、黒板を使用せず、スクリーンを使用していました。なので、授業の内容がとてもわかりやすかったです。また、ハワイの風習に関する授業もしてくれて、「タロ」という芋について話してくれて試食もしました。それから、「ハクレイ」というお花や葉で作った飾りの作り方を教えてもらい、実際に作ってみました。しかし、残念ながら日本に持ち帰ることはできませんでしたが、良い思い出になりました。

私は学校生活に戻ったとき、英語の授業がもっと楽しく感じるようになり、以前よりも英語に興味を持つようになりました。それはこの派遣事業に参加したおかげだと思います。今回は、このような貴重なことを、しかも小学生のうちから体験することができてとても嬉しく思っています。本当にありがとうございました。

初めてのハワイということもあり、見るものすべてが新鮮で、驚きと感動の連続でした。

まず空港を出た後、ノエラニ小学校に向かい、そこで初めて今回お世話になるホストファミリーのホクタンさんご家族とお会いしました。初めはとても緊張しましたが、一生懸命練習した英語で挨拶をすると、ファミリーの皆さんも温かい笑顔で応えてくださり、とても嬉しかったのと同時にリラックスすることができました。特に小学生のエリーちゃんとはすぐに仲良くなり、これからの数日間が楽しみになったことを今でもよく覚えています。

1日目のホストファミリーデーでは、たくさんの所に連れて行っていただき、色々なものを食べました。特に印象に残っているのは、アラモアナセンターで観たフラダンスショーです。ハワイで観る本場のフラダンスはとてもエレガントで、美しいハワイの伝統文化を実際にみることができ、とても感動しました。また、日本でも若者を中心に人気のあるレナーズバーカリーのマラサダドーナツや、レインボーのシェイブアイスは、前から一度食べてみたいと思っていたので、わざわざ計画を立てて連れて行って下さったことに、とても感謝しました。また、その日の夕食は、ホストファミリーの住んでいるマンションの別フロアでバーベキューを準備してくださるなど、心のこもったおもてなしを受け、とても嬉しく感動しました。

2日目からは、ノエラニ小学校に通い始めました。通学は車で20～30分くらいかかるため、児童やお家の方は大変だなと思いました。私が普段徒歩で通っていることを考えると、自分はいかに恵まれているかを感じました。ノエラニ小学校では、全学年の児童の皆さんが歓迎会をしてくれました。代表の児童がフラダンスを披露してくれ、とても素晴らしかったです。



学校の授業では、主に図工や体育をしました。図工では、色とりどりのハワイのお花を使ったブレスレットや、写真立てを作りました。写真立ては、ハワイアンスタンプやウミガメ、ヤシの木などを形どったダンボールで飾り付けをし、境小学校児童10名と、そのホストファミリーの児童11名の合計21名の集合写真を入れました。最後の授業が思い出となる写真立て作りで本当に良かったです。授業をしていく中で、難しいことや分からないことがあったけれども、自分から勇気を出して英語で話しかけることで、相手もそれに応えてくれて、いつしか自然と笑顔でコミュニケーションをとれるようになりました。短い間でしたが、クラスの皆と友達になれたこと、お別れの時にはたくさんのお手紙をもらったことなど、すべてが私の大切な思い出で宝物です。

私は2日目に少し体調を崩してしまい、たくさんの人に心配をかけてしまいました。自分でも申し訳なさや不安の気持ちでいっぱいでしたが、ノエラニ小学校の先生方や友達、ホストファミリーの皆さんが優しく声をかけてくださり、気持ちも落ち着き、次の日には回復することができました。

私はこの派遣事業を通して、これからますます英語が必要な世の中になっていくのだということを感じました。英語が話せることによって、外国の人と仲良くなれたり、英語を活かした職業についたり、時には人を助けたりもできます。今回実際に体験をしてみて、今の自分の未熟さを感じましたが、これまで以上に英語が好きになり、今後はさらに努力しようと決意しました。そして、私に優しく接してくれた方や、助けてくれた方のように、少しでもお役に立てる自分になりたいと思います。最後に、この事業を企画して下さった境町に感謝いたします。どうもありがとうございました。Mahalo!!

『いろいろな体験をしたハワイ』

境小学校 5年 風見 大樹

僕がハワイに行って経験したことを、それを踏まえて思ったことを書いていきたいと思います。まず、はじめにハワイのみなさんとのコミュニケーションの取り方です。ホストファミリーとの生活やノエラニ小の皆さん、総領事館のひとたちはとても明るくたくさん話してくるので最初は緊張して英語で話すことができませんでした。2日目には自分から頑張って喋ると色々話してくれて親しみを持ちやすかったです。

ホームステイ先の人はディランちゃんとダストンちゃんとダクスティンくんでした。ディランくんは4年生のときに境町に一回来たのでとても話しやすかったです。

ホームステイ先に帰る途中に日本と違う文化を発見しました。それは車の走る場所が反対なこととハンドルが左だったことです。その後にデイベ&バスターズに行きました。初めてのゲームセンターなので緊張しましたが、親切に教えてくれたので楽しめました。

その後、ボーリングもやりました。初めてのボーリングでしたが、簡単な英語でコミュニケーションを取れたのでとても嬉しかったです。

2日目と3日目にはノエラニ小で初めての授業を体験しました。初めての授業は英語で読みづらかったですが、頑張って読みました。3日目はよっちゃれソーランを踊りました。その時に境町のことが動画で紹介されていたので境町のことを紹介できてとても嬉しかったです。

次に、総領事館や学校などでの英語力の向上です。いつもの英語の授業とは全然違い、話すスピードがとても速かったため、聞き取れずに何度も聞き返してしまったところ、返事の返し方が日本と違い「huh?」と言われることもあって、「怒っているのかなぁ」と思い怖くなってしまうこともありましたが、3日目になると相手の言っていることが怒っているのではないことがわかりました。日本では丁寧に返すことが多いですが、海外では聞き方は怖く、適当に返すことが多いと感じました。そして、日本との学校などの違いがわかりました。ハワイではお菓子タイムやバスケットゴールが外にあるなど、不思議だなぁと思いました。

そして、この派遣事業で叶えられた夢があります。それは、文化交流をすることと体操を見せることです。6歳の頃から英語と体操をやってきました。それをハワイの人に見せるととても喜んでくれました。その夢を達成することができました。ですが新しい夢もできました。それはもっと色々な国に行き色々な言語を学び、体操に役立てて境町に体操の施設を立てたいからです。そして、この事業に色々な人がサポートをしてくれたので今度は私達が事業をサポートする側になりたいです。貴重な体験をありがとうございました。



『ハワイで経験したこと』

境小学校 6年 櫻井 琴心

これから私がハワイで体験したこと、思ったことを報告していきたいと思います。

ハワイに着いてすぐにノエラニ小学校に行きホストファミリーに会いに行きました。

私のホストスチューデントは去年の派遣事業で来日したときに私の家に泊まったので、久しぶりに再会できてとても嬉しかったです。前に会ったときは同じくらいの身長だったのにすっかり抜かされていました。

その後、ホストファミリーと昼食を食べに行きました。日本では食べたことがないような料理でしたが、とてもおいしかったです。

昼食の後はビショップ博物館に行きました。そこはハワイの歴史と文化を学べる博物館でした。建物がとても大きく見たことのない色をしていたので日本に帰って調べてみると溶岩石で作られていることがわかりました。

2日目はノエラニ小学校にいきました。クラスに行くとたくさんの友達がむかえてくれました。先生もとても優しく面白い人でした。

クラスに行った後はホノルル市庁舎を訪問させていただきました。議員さんがたくさん歓迎してくれました。次に日本総領事館を訪問させていただきました。

そして学校に戻ると歓迎会を開いてくれました。歓迎会では、ホストスチューデントの人たちがダンスを披露してくれました。その後は私達もソーラン節を披露し英語で自己紹介をしました。とても緊張しましたが練習した通りにできてよかったです。

学校が終わるとホストファミリーが迎えに来てくれて、ワイキキビーチとホノルル動物園に連れて行ってもらいました。しかし時間が遅かったのでホノルル動物園は閉まっていた。でもワイキキビーチがとてもきれいでした。そこで見た景色は一生忘れません。

3日目と4日目はノエラニ小学校の授業を受けました。タロイモを使ったハワイの伝統のポイを作ってみんなで食べました。実際にタロイモをすり潰す作業をやってみたところ、見ている時は難しそうに見えたのですが、やってみたら簡単に作ることができました。初めて食べたポイは里芋に似た味だったのですが、そのまま食べるのは私は美味しいとは思えずあまり食べることができませんでした。また、生花を使ったブレスレットと段ボールを使って写真立ても作成しました。どちらも上手く作れたので家に飾ってあります。

その日は給食も食べました。日本の給食より量が多くお皿が紙でできていました。さらに給食でジュースがでることに驚きました。

昼休みにはバスケットボールをやりました。スポーツは言葉が通じなくても一緒に楽しむ事ができるという事がわかりました。

私は今回の派遣事業で本場の英語にたくさん触れハワイの授業内容などを知ることができました。そしてハワイで生活するために必要な知識や楽しさを学ぶことができました。小学生で貴重な体験を積むことができてとても嬉しいです。すてきな体験をさせていただきありがとうございました。



『大冒険のハワイ研修』

境小学校 5年 佐々木 元一

今回の研修では、ハワイの文化を知ること、境町をアピールすること、新しい友達を作ること为目标に、ハワイ出発までの約3ヶ月間、説明会や研修会でたくさんの準備をしてきました。一緒に行く仲間とはプレゼント作りやダンスやスピーチの練習をし、先生や役場の人と一緒にがんばりました。

ハワイでの研修は、2日目はホストファミリーDAYでした。天気が悪かったため、ビショップ博物館に連れて行ってくれました。魚や弓、剣などが展示されていて、すべて英語だったのでハワイの歴史を少しだけ学びました。ホストファミリーの家では、僕が日本でも遊んでいる「コネクト4」というゲームと一緒に遊びました。その中で、ホストファミリーとの距離が縮まった感じがしました。

2日目は総領事館・市庁舎に行きました。総領事館では代表の挨拶をしました。とても緊張しましたが、練習どおり上手に発表できたと思います。そしてハワイの歴史と日本人観光客について、真珠湾の話やコロナで観光客が減少したことなどのお話を聞きました。市庁舎では、議員の人がいてボールペンとピンバッジをもらいました。そのあとノエラニ小へ帰り歓迎会に参加し、

フラダンスで歓迎をしてくれました。僕たちは「よっちょれソーラン」を踊りました。緊張しましたが、全力で踊れました。とても楽しかったです！たくさんの人の前で、しっかり挨拶や発表ができたので、自信ができました。

3・4日目はノエラニ小で授業を受けました。ホストファミリーがいるクラスに参加しました。授業は算数で、2桁の足し算をやっていました。自分ならどう図で説明するかという授業でした。また体験教室にも参加し、花のブレスレットを作りました。花を左右順番にし、紐で巻くという単純な作業ですが、意外と難しかったです。またカパラというハワイの伝統的なスタンプを作り、段ボールで作った写真立てに押ししました。写真立てのふちの周りをカパラでデコって集合写真を入れました。僕の宝物の一つになりました。給食は、ハンバーグシチューやポークサ



ンドが出ました。どれもおいしかったです。境小の給食が一番おいしいと感じました。昼休みはみんなでバスケットをしました。ノエラニ小では日本の学校との違いを多く学ぶことができました。ハワイの小学校



は、スナックタイムという休み時間に家から持ってきたお菓子を好きに食べていい時間があったり、教室でも靴で過ごすためすぐに校庭に遊びに行けたりと境小との生活の違いをたくさん知ることがで

きました。

放課後はホストファミリーが、僕のリクエストでダイヤモンドヘッドへ連れて行ってくれました。約1時間で登り、太陽の日差しがとても熱くて、きれいな景色でした。ワイキキビーチも見れました。

最終日はホストファミリーと一緒に写真を撮りました。お別れはとても寂しかったです。けれども、僕はハワイへ行って、家族の大切さに気づきました。荷物の準備や整理、時間を見て自分で行動すること、1人で過ごすのは大変でした。毎日日本でどれだけ家族に支えられているかわかりました。そして今回お世話になったホストファミリーのお友達とは今後も交流を続けられるよう、連絡をとりたいと思います。そのためにはもっと英語の勉強をがんばります。小学生でこのような貴重な経験をさせてくれた、家族、先生や橋本町長、役場の人に感謝の気持ちでいっぱいです。これからも、英語の勉強をがんばりながら、学校生活を全力で楽しみます。ありがとうございました。

『派遣事業により得た学び』

境小学校 5年 高橋 睦

この派遣事業を通して、体験したことがたくさんあります。

1日目はホストファミリーデーでした。大きなショッピングモールに行きました。中ではフラを踊るステージがありました。私はまずホストファミリーと一緒にABCマートに行きました。大容量のお土産用チョコがあったり、レイの形をしたキャンディがあったりととても「the アメリカ」のような雰囲気でした。その後は、ジャパンマーケットに寄っておやつを買いました。人がたくさんいて、やっぱり人気なのかなと感じました。夜ご飯はラーメンを食べましたが、ラーメン屋さんにも行列ができており、身近な感じがしました。

2日目は朝ご飯を学校で食べました。前日の夜に学校で朝ご飯を食べられると聞いたときはとてもびっくりしました。とても美味しくて、羨ましく感じました。この日は、ホノルル市役所と日本領事館に表敬訪問に行きました。市役所は絵画が並んでいたり、本当に市役所なのかと疑うほどでした。日本領事館では何日も練習していた領事館での発表が成功しとても嬉しかったです。通常授業では国語のような自分で新しい単語を作って一枚のポスターに意味などを書くという授業でした。授業はラフに感じました。みんなが楽しそうにやっていて、日本の集中している雰囲気

気とは違いびっくりしました。絵を書いたり、飾りを手伝いました。特別授業は学校案内でした。学校には、3才児クラスもあると言ってとてもびっくりしました。

3日目は通常授業が自習で、アメリカにも自習があることにびっくりしました。ですが、みんな日本の自習と違い、ゲームをしたり、イラストを書いたりしていました。一緒にゲームをさせてもらいました。また昼食後には体育をしました。準備運動で体育館を音楽に合わせて走ったり、バスケットボールを使って卓球のようなことをしました。体育着や並ぶ順が決まっていないということにびっくりしました。特別授業ではタロ芋からポイというお正月に食べる物を作りました。固くて柔らかくなるまでは難しかったです。ソースは紫色で独特な色をしていました。その後フラワープレスレットを作りました。縛ったりバランスの良い色の花選びがとても難しかったです。日本語で教えてくれて安心しました。夜は、ノエラニ小でパーティを開催してくれました。ホストファミリーのおすすめ食材をバイキング形式で取って食べました。お肉やパイナップルなどとても美味しかったです。また、アイスやケーキをデザートで食べました。

4日目は悲しい帰国の日でした。私は感謝の手紙を書きました。とても喜んでくれ、良いお別れができました。早いような遅いような4日間でした。

私はこの派遣事業を通して成長できたことがたくさんあります。

まずは派遣の第一目標でもあったコミュニケーションを取るということです。その目標を達成して帰ってこれたことが嬉しかったです。なるべく沢山の人と喋ったり、挨拶をたくさんしたりしました。日本語を喋れる人と遊んだり、おやつ時間は交換しながら食べ、先生とテニスをしたりなるべく沢山のコミュニケーションを取るようにしました。

そして、自分のことは自分でやるという基本的なことの大切さに気付かされました。いくら簡単なことでも頼れるのは言葉が通じないホストファミリーです。なるべく迷惑をかけないように、そんな基本的なことから心がけるようにしました。

この派遣事業ではたくさんのことを学ぶことができました。小学生で海外に行くことができ嬉しかったです。ありがとうございました。



『ハワイでの思い出』

境小学校 5年 新谷 結

これから、私がハワイで体験したこと、楽しかったこと、感じたことを発表していきたいと思います。

日本出発の時、私は飛行機に初めて乗るので、すごく楽しみでしたが、少し不安もありドキドキしました。搭乗手続きを済ませて、実際に飛んでる時は、友達と席が隣だったので喋りながら行ったので、最初は耳が痛かったですが、楽しく過ごせました。

ハワイに着いたら、ノエラニ小に行きました。初日はホストファミリーのジョーディンちゃんと水族館に行きました。そこでは色々な動物と触れ合う事が出来ました。鳥を手に乗せて餌をあげたり、触ったりしました。鳥は小さいものもいれば大きめのものもありました。イルカも触りました。イルカのお腹はピンク色でとてもぷにぷにして気持ちよかったです。ホストファミリーの家に着くと、犬が2匹いました。私は生き物がとても好きなので、犬に会えるのがとても楽しみでした。犬は、ポテトとブルーノという名前でした。お土産に持って行ったおやつをあげると、

とても喜んでくれました。ホストステューデントのジョーディンちゃんはとても面白い子でした。英語でのコミュニケーションは難しかったですが、スマホの翻訳機を使ったり、もう一度聞いてみたりしてコミュニケーションを取ることができました。ジョーディンちゃんの家族もみんな親切で、楽しい家族だったので、毎日寂しくなることもなく、楽しく過ごすことができました。今回ハワイに来られて、去年ホストステューデントとして受け入れた、ディランと再会出来た事も嬉しかったです。

その他にもノエラニ小でのたくさんの楽しい体験や、日本の給食とは違ったカフェでのランチ、日本でも行った事のない領事館や、ホノルル市役所で色々なお話を聞け、貴重な体験をいっぱいさせてもらえました。いつかまた、絶対ハワイに行きたいです。



「ホノルル派遣事業を経て」

境第一中学校 3年 大賀 智貴

これから今回の派遣事業で体験したこと、発見したことについて報告します。

まずは、ホノルル市にある市庁舎、日本領事館を訪問したことについてです。市庁舎と領事館には2日目に行きました。そこで僕達のグループは英語の発表をしました。練習した英語の発表は少し忘れたり、噛んだりしてしまいましたが僕たちの思いをスタッフや議員の皆さんに伝えることができて良かったです。

市庁舎ではホノルル市議会の議長さんと市役所職員が派遣事業で来た僕たちを歓迎してくださり、市庁舎のことについての質問にも答えてくれて貴重な体験をさせてくれました。

次にホストファミリーについてです。人生で初めて海外でホームステイさせていただきました。最初はきちんと英語が伝わるか不安と緊張でいっぱいでしたが、そんな心配はなく、みんな僕のことを家族の一員として、優しく接してくれました。僕は「ホームステイの心構え」を忘れずに、毎日欠かさずいつも笑顔で挨拶をしました。コミュニケーションについては、ネイティブイングリッシュなので会話のスピードも速く、発音もきれいなため聞き取りづらい時もあったので、どうしても困ったときには翻訳機に頼ってしまいました。

僕は今まで学んだ英語を活かし、自分の伝えたいことを自分の力で、しっかりホストファミリーのみんなに伝えることができて嬉しかったです。

他にも僕が寝泊まりする部屋で、クレイトンくんと一緒にゲームをしたり、みんなでショッピングモールに行ってお買い物をしたりとても嬉しかったです。また、ホストマザーが作ってくれたパンケーキやハンバーガーを家族みんなで食べるなど、大変充実した毎日を過ごすことができました。



最後に今回の派遣事業でハワイを訪問して感じたことについてです。

まず学校生活についてです。アリアマヌ中学校の生徒たちは服装の決まりはなく、私服で耳にピアスを開けていたり、髪を染めたり、学校にスマホを持ってくるなどアリアマヌ中学校の校則が日本の学校よりも緩かったことに驚きました。

特別授業でキーホルダーを作った際に、日本のアニメキャラクター紹介で「鬼滅の刃」が出てきた時、クラスの生徒たちがとても盛り上がっていたので、日本のアニメ文化の影響は凄まじいものだと改めて実感しました。

ホームステイ先での生活は、やはり日本とは違い、靴を履いたまま家の中で過ごしていたり、水道水を直接飲むことができないためウォーターサーバーを使っているなど、日本とは異なる点が多くありましたが、とても過ごしやすかったと感じました。しかし、お風呂はシャワーだけだったため、少し日本のお風呂が恋しくなりました。

私は今回の派遣事業で実用的な英語会話や、海外で暮らしていくのに大切な知識などを得る事ができました。さらに、海外での暮らしの大変さや、ホストファミリーとの生活の楽しい時間を体験することができました。

今回の派遣事業を将来に生かせるようにしていきたいです。

これで報告を終わりにします。

今回のホノルル派遣事業という貴重な体験をさせていただき感謝しています。

本当にありがとうございました。

『ハワイ派遣事業を通して』

境第一中学校 3年 金久保 芽可

私は今回の派遣で4日間ハワイに滞在してきました。その4日を通して体験、経験してきたことや考えたことをここに報告していきます。

まず1日目は空港からバスでアリアマヌ中学校まで行きました。そこでは沢山のホストファミリーの生徒が私達を暖かくお出迎えをしてくれました。その後、私もホストスチューデントもディズニーが大好きなこともありディズニーリゾートへ行き食事やマスコットとの写真を撮ったり楽しみました。1日目という事もあり私はとても緊張していましたがホストファミリーがゆっくり話してくれたり、私の不慣れた英語を最後まで聞いてくれたので不安な気持ちはなくなりました。

2日目は市庁舎と領事館へ表敬訪問しに行きました。残念ながら市長さんは欠席となってしまいましたが質疑応答の場面では市長さんの前職や議員さんの人数などに答えていただきました。領事館では日系移民の歴史についての話やこれまで大きな功績を残した日系アメリカ人の話を詳しくわかりやすく説明していただきました。どの話も日本とハワイの交流するためにも大切なものになりました。

3、4日目はアリアマヌ中学校での学校体験を行いました。私は数学、株、オーケストラの授業を体験しました。日本の授業とは大きく違い「実際に将来のためになるようなものを学ぶ」という印象をうけました。また授業によって生徒が入れ替わるので授業に出る楽しみや気分転換、新しい友人を得るチャンスになるなど授業にでる楽しみが増えとても良い仕組みだと思いました。他にも休み時間では派遣団員とホストスチューデントと一緒にマンカラというゲームで遊んだり、自国のことを語り合って過ごしました。3日目の歓迎会では境町から橋本町長も来てくださり、ダンスの発表やお土産の贈呈を行いました。その後はフラの練習を行いました。すこし難しかったですが、繰り返しなどが多く、覚えられればもっときれいに踊れたと思います。練習中はホストスチューデントも参加していて、言葉が伝わらなくてもその楽しい雰囲気だけで皆が笑っていて楽しみながら踊ることができました。4日目はウクレレの体験やアイランドツアーを行いました。ウクレレでは3つのコードを教わりました。アイランドツアーは皆でバスに乗って島を回りました。海や山に行ったり、バスの中ではお菓子を食べたりして過ごしました。日本とは全然異なる町並みや自然の風景のなかバスが走っていて、窓の外の景色から目が離せませんでした。また、道中シェイブアイスというかき氷のようなものを皆で食べました。日本のかき氷と違いシロップの味が全部違い、ライチのような味がして美味しかったです。

最終日ではホストファミリーが空港まで送ってくれてお見送りをしてくれました。短い期間でしたがずっと一緒にいたので離れるとなると悲しく、目が涙で潤んで来ました。

今回アリアマヌ中学校やハワイを訪れて、文化の違いとは素晴らしいものだと感じました。コミュニケーションが取れなかったり、会話ができなかったりと大変なことも多いですが、その分相手を知ろうとする心が芽生え、より相手と仲が深まると思います。また文化の違いを相手に教えることで、色々な発見や、新たな趣味を発見できると思ったからです。

また、他に実際に授業をうけて境の学校にいるフォーリンスチューデントの気持ちがよく伝わりました。何を言っているのかわからない、どんな内容かわからない、とクラスで自分だけ残されてるような感じがしていると思いました。なので、これから

はクラスや学年にいる子に英語で説明したり、不安なことを減らせるようにサポートしたいと考えました。他にも研修に行き学んだ現地で使っているネイティブな相槌や表現、仕草を使っていきたいです。今回の派遣での経験を今後に活かしていきます。



『ハワイへの派遣』

境第一中学校 3年 シェク アラビ

この事業を通して学べたこと、成長できたことが2つあります。

1つ目は、海外の人たちとのコミュニケーションの仕方です。ハワイの初日はホストファミリーデーでした。最初は何を言っているのかわからなく会話をするのが難しかったけど、ファミリーは私が理解していない事に気づいて、ジェスチャーなどを使ってゆっくり話してくれました。2日目は大使館や市役所の方々のお話を聞いたり、こちらから質問させていただいたり、とても貴重な体験ができました。学校では、たくさんの生徒や先生方とコミュニケーションができました。日本では受けられない大学についての勉強もしました。その中で一番記憶に残っているのは音楽の授業です。私は吹奏楽部でハワイの音楽にはとても興味がありました。授業を受けてとても驚きました。使っている音楽用語が日本と似ていました。音の表現の仕方など見覚えがあるものが多かったです。そして授業が終わると多くの生徒に日本はどんな感じなの？など日本の音楽についてたくさん聞かれました。たくさんの人が日本に興味を持ってくれ、積極的にコミュニケーションを取ることができました。

2つ目は、英語力が向上したことです。ホストファミリーと会話をしていくにつれ、最初は聞き取れなかった単語や内容も聞き取れるようになったし、3日目では自分の意見も言うことができ、文章の使い方などもわかるようになりました。アイランドツアーの日は、他のホストファミリーと話すことができました。ホストファミリーとお出かけをしたときはハワイの伝統的な踊り、「フラ」を見に行きました。その時には日本の盆踊りのことなども聞かれました。ホストファミリーの家、学校、市役所などたくさんのコミュニケーションを取る機会があり、とてもいい経験になりました。

そして、私はこの事業を通して叶えたかった夢を叶えることができました。それは、違う国の音楽に触れることです。ホストファミリーの子はチューバをやっており、それについて会話をしたり一緒に音楽を奏でたりしました。学校では、ウクレレなどのハワイならではの楽器を弾くことができました。日本とは違い、色々な音色の楽器がありました。夢が叶ったとともに新しい夢もできました。それはまだ見たことのない音楽に触れることです。まだ子供なのでハワイまではいけませんが、大人になるまでに色々調べ、ハワイの音楽に触れたいです。

私は今回の事業で、コミュニケーションの仕方、実際に生活するのに必要な知識、ハワイの授業内容などを知ることができました。そして何より、海外で生活する大変さ、楽しさを感じられました。

私は今回の貴重な体験を踏まえ、将来に向けて頑張りたいと考えています。

今回の事業のおかげでたくさんの経験を積むことができました。貴重な体験をありがとうございました。



『研修を通して』

境第一中学校 2年 宇津木 彩乃

これから、私が派遣事業に行って体験したこと、体験してどう感じたかを報告していきたいと思います。

1日目は、空港からバスに乗り姉妹校であるアリアマヌ中学校へ行きました。学校のエントランスでは、今回ホストスチューデントをしてくれる生徒のみなさんがお出迎えをしてくれました。学校での記念撮影が終わったあと、お世話になるホストファミリーのお家へ行き、その後ホストファミリーと一緒にホストファミリーデーを過ごしました。ホストファミリーデーでは、研修前に行なったホストファミリーとのオンラインミーティングやチャットで、私が「やりたいです。」と話したことがたくさんできて嬉しかったです。パンケーキを食べたり、水族館に行ったり、アラモアナセンターに行ってお土産を買うことができ、とても嬉しかったです。この日の夜ご飯はお店で買ったロコモコ弁当でしたが、ネットで調べて出てくるようなロコモコ弁当とは全然違ったのでロコモコ弁当にも種類があることを知ることができました。その日の夜、ホストファミリーの三女のお姉さんと一緒に日本のアニメ、「ハイキュー!!」を見ました。まさかハワイで好きなアニメの話ができるとは思ってもいなかったので、とても嬉しかったです。ハワイの動画配信サービスには、他の日本のアニメもたくさんあったので海外でも日本のアニメが人気であるということが知れて良かったです。

2日目・3日目は、学校の授業を受けることができました。私は、理科と数学の授業を受けることができました。理科の授業では2種類の紙コップと、3種類の糸を使い、糸電話を作りました。数人の班で1個の糸電話を作り、各班で紙コップと糸の組み合わせ方が違ったので、見ていて新しい考えをもらえたとし、日本の中学校ではやらないような授業を受けることができて新鮮でした。数学の授業では、座標の単元の授業を受けました。座標は、日本では中学1年生のときに習うので出された問題に正解することができました。その後に、数学の先生とハイタッチできたのがとても嬉しかったです。社会などの授業で勉強することは違うけれど、数学は世界共通なんだと改めて認識することができました。

他にも、2日目、3日目では色々な事をすることができました。領事館挨拶や議会への英語でのスピーチはとても緊張しましたが、頑張ることができました。議会では、議員の皆さんに質問をすることができました。一番驚いたのは議員さんの人数です。境町の議会議員さんの人数は人口約2万人に対し12人なのに、ホノルル市議会では、人口100万人超なのに対し9人の議員しかいないということです。たった9人で大勢の人々が住んでいる都市を統制しているのはすごいなと感じました。領事館では、数名の生徒がスピーチをしたあと、総領事からのお話がありました。ハワイへ行く前に、研修生みんなでハワイのことについて調べたのですが、まだ知らない情報を聞くことができて良かったです。学校ではスパムおにぎりを作ったり、フラダンスをすることができました。フラダンスの他にも、フラのときに使う楽器などを演奏することができました。ハワイの伝統的なフラをたくさん経験することができて嬉しかったです。最終日はホストスチュー

デントとホストマザーがお見送りをしてくれました。最後に二人が、私にレイをかけ、ハグをしてくれたのがとても嬉しかったです。

今回の研修では、英語のリスニング能力、スピーキング能力を上げることができ、私の今回の研修の目標だったハワイと日本の文化、生活、考え方の違いを知るということを達成することができました。そして、日本の良いところも再発見することができました。私は、今回の研修を通して、英語を更に勉強して、いつか英語が役に立つ仕事に就きたいと思いました。この度はとても貴重な体験をさせていただき大変ありがとうございました。



『ホノルル派遣事業』

境第一中学校 2年 金久保 伶奈

私がこの派遣事業で、体験したこと、それを踏まえて思ったことを報告したいと思います。

はじめに、ハワイの方たちとのコミュニケーションについてです。日本での挨拶は「こんにちは」「おはようございます」などで終わってしまいがちですが、海外では、「こんにちは、調子はどう?」「おはよう、君はどこ出身なの?」など、挨拶の後にちょっとした質問や世間話のようなものがあり、挨拶がよりうれしく、楽しいものになっていました。

私も実際に、アリアマヌ中の生徒や先生、外出先であった方達にこのような挨拶をされ、少し緊張していましたが、心が少し暖かくなった気がします。ハワイの方達は、出身地、年齢、見た目、関係なく接してくれました。これからは私も、外国人に積極的に挨拶をしたり、英語をもっと勉強して、たくさんの国の方達とコミュニケーションができるように努力したいです。

次に、日本領事館と市議会への訪問についてです。日本領事館では、ハワイの歴史や、日本とハワイのつながりについて詳しく教えていただきました。市議会では、たくさんのプログラムや仕事の仕方について教えていただき、とても勉強になりました。

役員の方も、とても良い方達ばかりで、質問に対して補足までつけてくれたり、笑顔で受け答えしてくださったりして、とてもうれしかったです。

最後に、ホストファミリーについてです。私のホストファミリーは、高校生、小学生、父、母の四大家族で、アリアマヌ中では、他のホストチューデントの方が案内などをしてくれました。

日本が大好きな方達で、日本のアニメや漫画の話や、日本や境町のおすすめの観光スポット、ホノルルと日本の学校の違いについてたくさんお話しました。

ホストファミリーデーでは、たくさんの素晴らしい場所に連れて行ってもらいました。まず一日目では、アウラニというディズニーのホテル施設や、真珠湾へ行きました。真珠湾攻撃があったことは知っていたけれど、詳しいことはわかっていなかったのでもって勉強になりました。

二日目は、ワイキキにある、インターナショナルマーケットプレイスというショッピングモールや、ワイキキビーチに行きました。ショッピングモールでアイスクリーム屋さんに行ったとき、抹茶味などの日本のフレーバーのアイスクリームが売っていて、とてもびっくりしました。ワイキキビーチでは、ハワイの人だけでなく日本人などの観光客も多く来ていて、サーフィンを楽しんでいました。



三日目はたくさんの絶景スポットに連れて行ってもらいました。そのなかでも、サンビーチで、青空の下で波の音をたてている海をみて、とても感動しました。日本の海とはまた違ういいところがたくさんあり、楽しかったです。

この派遣事業では、とても素晴らしい経験をしました。ホノルルの文化と日本の違いについて詳しく学んだり、ホノルルの魅力をたくさん見つけることができました。

その他にも、ホストファミリーやホストスチューデントなど、いろいろな人と交流をして、もっと英語の勉強をして、もっと仲良くなりたい、もっとたくさんおしゃべりをしたいと、英語や他の言語への興味がより一層深まりました。英語を話せるようになりたい、という目標だけで終わらせず、その目標を実際に達成できるように努力していきたいです。

ハワイでの滞在は本当に素晴らしいものでした。一生の思い出になっています。

『発見』

境第一中学校 2年 菊地 芽依

はじめてのハワイ、はじめてのホームステイ、はじめての場所ではじめて会う人と過ごす時間、そんなたくさんの「はじめて」から始まったこの派遣事業。

わたしはこの派遣事業でたくさんの発見をしました。

ハワイの学校は、スマホ・ゲーム・お菓子の持ち込み、髪型・アクセサリー・服装の自由が許可されており、とても自由な校風で新鮮でした。授業は選択制で幅広い分野を学ぶことができます。私はホストスチューデントと同じ授業を受けました。授業は難しかったですが、クラスメイトがとてもフレンドリーに話しかけてくれました。ある子は、がんばって日本語で話しかけてくれ、あたたかい気持ちになりました。

ホストファミリーデーには、ショッピングモールやレストラン、ビーチなどいろいろなところに連れて行ってくれました。ホストファミリーとのたくさんの思い出が作れました。

3日目には、スパムむすびを作りました。はじめて作りましたが、簡単においしく作れました。ホストスチューデントもおいしいと言って完食してくれて嬉しかったです。

給食やレストランでは、一品一品の量が多く、濃い味付けのものが多かったです。飲食店では持ち帰り用の紙製容器がもらえ、フードロスが減らす工夫がされていました。私は、日本ではあまり馴染みがないと思うので、ハワイを見習うべきだなと思いました。

ほかにも食事の面での発見がありました。それは、『いただきます』や『ごちそうさまでした』というようなことは言わない、そういう風習がないということです。食前にはなにも言わないで食べていたり、わぁおいしそうと言って食べたりしていて、『いただきます』などと言って食べるのは日本だけなんだなと感じとても驚きました。

気候の面では、ハワイは熱帯地域でいつも暑いと思っていましたが、実は朝晩涼しく、半袖では肌寒く感じるときもあり、日本の避暑地を思わせるようでした。気温が高い日でも、ハワイと日本を比べると、日本のほうが暑いと感じました。

コミュニケーションの面では、自分の言いたいことを英語ですぐに伝える難しさを痛感しました。ホストファミリーがあたたかく迎えてくれ、たくさん話しかけてくれましたが、すぐに言葉が出ず、もどかしい気持ちになりました。ALTの先生方と比べ、話すスピードがとても速く聞き取るのが難しかったです。

ウクレレやハワイの楽器、フラの特別レッスンを受けました。私は音楽・楽器が好きなのでとても楽しかったです。



私は、この派遣事業を通して、海外と日本の生活の違いや英語で話すことの楽しさ、難しさを知ったことで、帰国後は、今までより積極的にALTの先生方と話をするようになりました。もっと上手に英語を話せるようになりたい、そして、たくさんの人と出会い、自分の考え方や視野を広げていきたい。この4泊6日のかけがえのない経験を武器に、いろいろなことに目を向けて、新たな発見や経験をしていきたいです。私を、今回の派遣事業に参加させていただきありがとうございました。

『ホームステイ』

境第一中学校 2年 矢戸 晴紀

この研修を通して体験したことを報告します。

まず、はじめにアリアマヌ中学校に行き歓迎をしてもらいました。校舎は色とりどりの絵で飾られていて綺麗でした。次に、ホストファミリーと会いました。優しいような雰囲気の人が多く少し安心しました。その後、お店に行ってロコモコを食べました。とても量が多くて食べきれませんでした。

その後は、アロハスタジアムの近くの市場に行きました。今まで市場を見たことがあまりなかったのもとても興味を持ちました。市場では新鮮な野菜、フルーツやお土産などを多く売っていました。そこでは前から飲みたいと思っていたココナッツジュースを飲みました。ココナッツジュースは砂糖水のような味がしました。その日の夜は、みんなでゲームをして仲良くなりました。

二日目は、まずホノルル市庁舎を訪問しました。ホノルル市議会の議長さんは「もっと境町と交流していきたい。」とおっしゃっていました。その後、日本領事館に行きました。

その後は、ホノルルの有名な山に登りました。山にはたくさんの種類の植物が生息していて驚きました。やはり自然の中の空気はおいしいと思いました。その日の晩ごはんは、ポイとラウラウでした。ラウラウは肉や魚をタロイモの葉で包んで蒸した料理だと言っていました。

三日目は、アリアマヌ中学校で国語の授業を受けました。授業では生徒や先生が思っていたよりも速く英語を喋っていて、いまいち何を言っているのかがよくわかりませんでした。でも、ネイティブな英語を聞くことができてとてもいい経験になりました。その後は、ホストファミリーとワイキキビーチに遊びに行きました。海の色は緑色に近くとても綺麗でした。

四日目は、学校でフラを習いました。フラは男女で違う動きがあって難しかったです。その後は、みんなで釣りをしました。魚ではなくカニばかり釣れました。

最終日、ホストファミリーに空港まで送ってもらいました。少しの間しか一緒にいれませんでした。別れはとても寂しかったです。

私は今回のホームステイできれいな観光地・大きなショッピングモール、スタジアムなどがあること、伝統的なダンスや食事・コミカの高さなど境町が見習うべきことがたくさんあると感じました。もっとたくさん交流をすれば境町もホノルル市もどちらも発展していくと思いました。

私はハワイがとても暮らしやすいと強く思いました。家にいた時、ホストファミリーの人が英語があまり得意ではない私のために頑張って日本語で話そうとしてくれました。そうやって相手のことを考えて行動することが誰とでも仲良くなれる秘訣だと私は思いました。

また、私は今回の派遣事業でハワイの文化、ネイティブな英語、フラなどたくさんのことを学ぶことができました。そして、ホームステイの楽しさを知ることができました。私は今回の貴重な経験を今後の人生に活かしていきたいです。とても貴重な体験をさせていただきありがとうございました。



この海外派遣事業を通して学んだこと、体験したことが2つあります。

1つ目は、ハワイの方とのコミュニケーションのとり方です。1日目に初めてホストファミリーと会ったときには、笑顔でハロー！と挨拶をしたり、ハグで挨拶をしました。日本ではハグで挨拶をすることはないので、ハワイの方々は誰にでもフレンドリーに親しみやすく接することがわかりました。2日目にはアリアマヌ中学校に行き、学校体験をしました。アリアマヌ中学校の生徒の子が、ハロー！と挨拶をしてくれたり、カルメ焼きを作る授業では、グループの子とも英語で会話をする中で仲良くなることができました。またキーホルダーを作る授業では、私が作ったキーホルダーをそれ可愛いね！と褒めてくれたことをきっかけに、自分から話しかけるなどしてアリアマヌ中学校の生徒達と仲良くなる事ができました。



2つ目は、ホストファミリーと思い出をたくさん作れたことです。1日目のホストファミリーデーでは、スワップミートに行きました。そこでは飲んだことがないココナッツジュースを飲んだり、日本には無いことを体験することができました。

2日目は、巨大ショッピングモールアラモアナショッピングセンターに行きました。アラモアナには色々なお店があり、洋服、お土産コーナー、フードコートなどたくさんの店舗を見ることができみんなで楽しく買い物することができました。

3日目には、山に登り湖に着いたら、カモなどの鳥に食パンをあげたり、帰りにはホストファミリーと鬼ごっこをして、みんなで楽しく帰りました。

4日目は、ワイキキビーチに行きました、そこではサンセットを見ることができました。サンセットはとてもきれいで魅了されました。

そして最終日を迎え、この5日間、ホストファミリーと一緒に過ごした時間が楽しく、たくさんの思い出をつくることができたので、お別れするのが寂しかったです。

私は、この事業で日本では体験出来ないとっても貴重な体験をすることが出来ました。英語力の向上やハワイの文化などたくさんのことを学ぶことが出来てとっても嬉しいです。このような貴重な体験をさせていただき本当にありがとうございました。

これから、私がホノルルでの4泊6日のホームステイで体験したこと、それを踏まえて思ったことを報告します。

ハワイに到着したときは、初めてのハワイや見慣れない光景で緊張しましたが、5ヶ月ぶりの再会となるホストファミリーのアリスターをアリアマヌ中学校を見つけると、とても嬉しくなり緊張が安心へと変わりました。その後、ホストファミリーデーとしてホストファミリーと過ごす貴重な1日目が始まり、念願のビショップ博物館やワイキキビーチ、ショッピングに連れて行ってもらいました。博物館はハワイの歴史に関する展示物が多く、とても勉強になりました。ワイキキビーチから見るダイヤモンドヘッドは壮大で海は鮮やかな青色で透き通ったように美しかった。

たです。夕食では私が一番ハワイで食べたかったロコモコを食べました。念願のロコモコはハンバーグが大きくボリュームで、一味違う本場の味を堪能できました。

2日目はいよいよアリアマヌ中学校への通学です。ホストマザーの作ってくれた朝食を食べ、ホストファザーの運転で登校しました。午前中は、学校を抜け最初にホノルル市庁舎も訪問させていただきました。市長の秘書の方や議員の皆さまが私達がハワイに学習するために訪れたことを大変喜んでくれていました。次に、日本領事館を訪問させていただきました。ここでは、日本からハワイに渡航した人の対応が行われるなど、総領事館での役割について説明を受けました。そして学校に戻るとたくさんのアリアマヌ中学生がお出迎えしてくれました。

その後、私達は授業を受けました。私のホストファミリーに中学生はおらず、学校ではファミリーとは別のホストスチューデントが付いてくれ、いろいろなことを教えてくれました。授業の内容はオヒアレファのツボミ作りや社会、数学、切り絵、スパムむすびづくりなど、どれも実用的な内容で日本の授業とは違った学び方でしたが、興味深く学ぶことができました。どの授業も英語なので、最初は理解するのが大変でしたが、すぐに慣れ、楽しく学びました。

また、アリアマヌ中学生の生徒はスマホの使用を許可されていましたが、休み時間はほとんどの生徒が外で遊んだり友達と話したりと、とても良い雰囲気でした。学校が終わるとホストファザーに迎えに来てもらい、家に帰りました。家ではサイクリングなどの運動をした後、家族と折り紙やだるま落としを楽しみました。これらは、日本からお土産として持っていったものです。鶴や手裏剣の折り方を英語で伝えるのに苦戦しましたが、完成したときの喜びは何倍にもなり、大切な思い出となりました。だるま落としもファミリーにはなかなか難しかったらしく、みんなで大笑いしながら楽しんでいただけました。

3日目は、午前中の授業後、お昼にはアリアマヌ中学生に歓迎会を開いてもらいました。そこでは、ハワイのゲームを通しコミュニケーションが増え、ホストスチューデントともさらに交流を深めることができました。

学校が終わるとホストファミリーに1日目とは違うビーチに連れて行ってもらいました。そこは、穴場のビーチのようで、綺麗なビーチと夕日の絶景を独り占めした気分になりました。その後、お土産を買いに連れて行ってもらいました。私のために親のように接してくれたホストファミリーには感謝の気持ちでいっぱいです。

4日目には、ホストスチューデントと一緒に学校主催のアイランドツアーに連れて行ってもらい、半日でオアフ島を巡りました。ノースショアではハワイで有名なマツモトシェイブアイスを食べられたのでとても嬉しかったです。道中のバスでは、境一中生やホストスチューデントたちともたくさん話し、ますます交流が深まりました。クアロアパークや山の上にある展望台から眺めたオアフ島はとても写真には収まりきれないほど壮大で感動的でした。



最終日の朝には空港に行かなければならず、朝食後にホストファミリーに手紙を送り、お別れをしました。短い期間でしたが、とても名残惜しかったです。空港ではホストスチューデントともお別れをし寂しい気分になりました。

今回の体験で、ホストファミリーとホストスチューデントから、一生忘れられない思い出を数え切れないほどいただきました。本当にありがとうございます。また会えるとずっと信じています。また、この機会は、国際的な視野を育ててくれるとともにハワイに強く惹かれるきっかけにもなり、今はハワイの大学も進学の見地にいられています。なので、ホストファミリーとホストスチューデントには私の英語力の向上を見届けてほしいと思います。

今回、ハワイでこのような体験を出来たのは、この事業を行ってくれた境町と派遣事業に携わる皆様のおかげです。私に一生に一度の貴重な体験を与えてくれ本当にありがとうございました。

『多様な文化に触れる』

境第二中学校 2年 稲垣 空羽

まず、私は現地の人々と直接交流し、異文化を体験する貴重な機会を得ることができました。ハワイの自然や文化に触れ、現地の中学生たちやホストファミリーと時間を共に過ごすことで国際的な視野が広がり、大きく成長することができました。

ホノルルに到着して最初に訪れたのが、アリアマヌ中学校でした。そこではフレンドリーな生徒たちや広い校舎を見て驚きました。ホストファミリーと合流して、言いたいことが簡単に伝えられずに自分から話しかけたりするのに苦労しました。ですが、時間が経つにつれ、話しやすくなり、楽しくコミュニケーションを取ることができるようになったことで、言葉が通じなくても気持ちが伝わることを実感しました。また、授業に参加したときには、生徒の皆や先生が話しかけてくれたり、ホストスチューデントが翻訳機能などで内容がわかるように気遣ってくれて、人々の温かさを感じました。

ハワイについての授業では、ハワイの歴史や文化、風習に触れ、フラの体験やフラで使う楽器などに触らせてもらいました。歓迎会では、派遣団の皆と一生懸命練習した国体ダンスを披露しました。踊り終えた後は、すごく達成感を感じました。



ホームステイでは、食事の時間や日常の会話などでハワイ特有の文化に自然に触れることができ、貴重な体験ができました。毎日、ファミリー全員で夕食を食べ、その日の出来事や楽しかったことなどを共有する姿に驚きました。私の家庭は、全員が揃って食事することがあまりないので、全員揃って食事をしたり、会話をするのも魅力的だと感じました。ホストファミリーがとても親切で、興味のあることをやらせてくれたり、ビーチやショッピングセンターなど、いろいろな所に連れて行ってくれました。私が英語を理解できずに困っていると、翻訳機を使って日本語を自力で読み上げてくれたり、簡単なことや、～に似ているよ、などと、分かりやすい表現を使ってくれて、不安な気持ちが安心へと変化しました。ホストファミリーの助けもあり、ハワイの文化に触れられた楽しい4日間を過ごすことができました。

今回の派遣事業を通して、私は日本を離れ、異なる文化に触れることで、普段の生活ではできないことをしたり、多くのことを学び、異文化理解の大切さを感じました。言葉や習慣が異なる人々と過ごす中で、自分の視野を広げることができました。さらに多くの国や文化に触れ、様々な人々と繋がっていきたいという思いが強くなりました。この派遣事業で得た学びや経験は、今後も私の成長に大きく影響すると感じています。今後も、国際的な視野を持ちながら、自分自身をさらに成長させていきたいと思っています。